2023 年度九州コラボセミナー開催概要

【開催概要】

■日時:2024 年1月24 日(水) 13:30～16:00

■場所:パピヨン24　2階　ガスホール(福岡市博多区千代 1-17-1)

■内容:営業事例発表

Ⅰ.『ミニコミ紙を起点としたお客様づくり』

発表者:エズコ株式会社　代表取締役社長　山本　雄二　氏

Ⅱ.『離島営業のあり方』

発表者:南海ガス株式会社　開発課　小川　祐樹　氏

基調講演

『若手社員の育成や早期離職防止等のポイント』

～企業の未来を担う人材とするために～

講師:株式会社ラーニングエンタテイメント　代表取締役　阿部　淳一郎　氏

■主催:九州コラボ

■参加:申込 149 名／出席 136 名(寒波の為 13 名欠席)

開会挨拶　九州コラボ　山下会長

　新年早々に発生した能登半島地震・小倉の鳥町食道街火災についてのお見舞いを申し上げると共に、改めて災害がいつどこで発生するか分からない中、エネルギー事業者として常に有事を意識した体制確保が重要だと感じた。電力会社から 2050 年までにカーボンニュートラルの実現に向け、お客様の消費機器を全て電化にすることを目指す取り組みが発表されているが、カーボンニュートラルの実現はガス体エネルギーなしには達成できないと考えている。ガス業界もしっかり取り組みを行い、電化＝カーボンニュートラルの実現という潮流が定着しないよう、これまで以上にお客様に寄り添って、信頼を勝ち取る一層の努力が必要である。本セミナーが今後の企業活動の一助になることを願っている、旨の挨拶がありました。

来賓挨拶　九州経済産業局　資源エネルギー環境部　毛利部長様

　新年早々にあった地震・事故・災害についてのお見舞いを申し上げる。そのような中、エネルギー供給事業者の皆さまは大変な仕事をして頂いており、本日基調講演の「人材育成」についても、事業継承のために大変重要な要素である、旨の挨拶がありました。

営業事例発表

Ⅰ.『ミニコミ紙を起点としたお客様づくり』

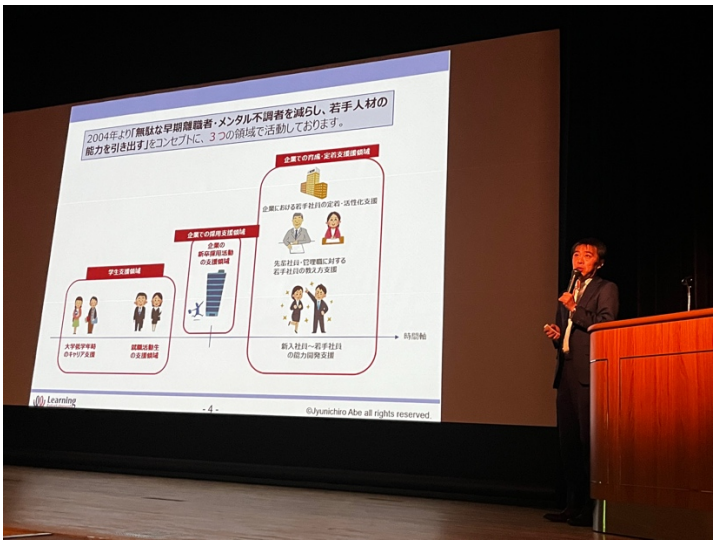
2006 年より毎月発行している「えずこニュース」は、当社の情報発信ツールとして、「季節の話題」「施工事例」「レシピと小連絡」「社長のコメントとクイズ」という内容で構成されている。2016 年よりカラーに変更し、返信ハガキの反応が徐々に増えており、以前掲載した小連絡でのブローカーへの注意喚起については、お客さまからの反響があったり、お客様との会話で社長のコメント欄の内容が話題になったりと、お客様と会社をつなぐ架け橋になっている。かわら版は片想いのラブレターのようなもので、「配っている方全員には届かないが、やることに無駄はない」と思い継続している。皆さまも年 2,4 回など、できそうな回数から始めてみては？、との提案を頂きました。

Ⅱ.『離島営業のあり方』

奄美市は人口減少に歯止めがかからない中、お客様との信頼関係を築いていくために、「全員接客・全員営業・全員保安」を念頭に業務を行っている。器具の点検・修理など 1 日 20 件程の連絡があるが、「30 分以内に現場に到着」を目標に対応している。これがリピート・拡販に繋がっている。また、施工後のアフター巡回も重点的に力を入れており、「不具合がないか…」やご利用方法の確認など行っている。全員で「提案～施工～アフター」を徹底し、お客様との長いお付き合いを続けていく中で、次の提案に繋げていきたいと考えている、との報告がありました。

基調講演

『若手社員の育成や早期離職防止等のポイント』～企業の未来を担う人材とするために～



現在、若手の早期離職や採用難などの問題は中小零細企業だけでなく、大企業や公務員でもおこっている。新社会人の転職サービス登録が 10 年で 26 倍まで拡大するなど、企業や職場の「比較」がおこっている現状を紹介。そこで、若手育成に必要なこととして「相手を知る」「向き合い方を知る」「方法論を知る」の 3 点（キーワードは「ジェレネーションギャップ」）について実例を交えて紹介頂いた。

閉会挨拶　九州コラボ　荒木副会長

　基調講演については、考え方を新たにしないといけないことを痛感した。また事例発表ではガス体エネルギーを広めていくために、大変参考になったのではと考える。ご参加の皆様の今後の事業運営に活かして欲しい旨の挨拶がありました。

以上